



映像配信
サイト



防災のため山の管理・保全についての具体的な手だてが急務だと考えるが

副市長 国・県に対する要望を含め、八女市としてできる限りのことを進めていく

公的医療体制の確保について

議員 公立八女総合病院再整備計画の現段階は、

市長 協議内容をお知らせできる段階ではない。

議員 公立病院の建て替えに200億円をかける一方で、クリニックくる

ぎの耳鼻科が閉鎖された。今後の東部地域の公的医療体制の確保は。

副市長 公立病院は12月に、へき地医療拠点病院の指定を受け巡回指導、巡回診療等を行っている。公立病院の医療体制を整え、東部地区すべてのエリアの医療体制を確保していく。



上陽町 桑川内付近の山林の様子

中学校教室環境について

議員 市内の複数の中学校は40人以上のクラス編成で教室が狭いと聞く。

教育長 市独自で中学校の学級を一つ増やす場合、教員数が不足するため、その確保が必要となる。現状では教員不足があり、難しい。一方で少人数対応で市独自に雇用し、小学校では対応できる状況。中学校の場合は、教科担任で難しさはあるが、改善に向け引き続き要望していく。

市民参加の開かれた

議会をめざして

〈議会運営委員会〉

10月11日

議会運営委員会では、10月11日に愛知県犬山市議会の「議会活性化」について視察研修しました。

犬山市議会

『市民参加』の機会と形を増やし意見を聴取する』取り組み

議会の権限を最大限発揮するためには、積極的に市民の参加を促すことが重要であり、市民のニーズや意見を吸い上げる場を増やす必要があります。

犬山市議会では、市民参加に重点を置き、議員間討議を経て議会の意見として行政機関へ提案・改善を求める仕組みを作り、2018年のマニフエスト大賞を受賞しています。

その取り組みとして、「市民フリースピーチ制度」を導入し、市民が市政に関する発言を直接議員に対して行い、その内容について全員協議会の中で議論されています。その後内容によって、各委員会の研究テーマとしたり、議員が一般質問で取り上げるなど、市民の声を直接政策提言につなげています。

※いちにち女性議会
誰もが住みやすく暮らしやすいまちづくりを進める取り組みとして、家庭・職場・育児などに関して抱えている疑問や意見などを、実際の議場で発言を行っている。



犬山市議会の『いちにち女性議会』の様子

調査を終えて

八女市に限らず全国的にも、選挙での投票率低下が課題となっていますが、民主主義において市民は意見を言う権利があるのは当然で、その場を設けることは議会の義務です。

一部の声だけでなく、より幅広い市民の声を市政に反映させるためにも、先進事例をもとに政策提言を行っていききたいと思えます。
(花下 主茂)

細やかな配慮が行き届いた 福祉に尽力する先進事例

〈厚生常任委員会〉

10月25日～26日

厚生常任委員会では、10月25日から26日に滋賀県野洲市の「生活困窮者等就労支援」、滋賀県栗東市の「栗東100歳大学」、大阪府堺市の「ひとり親家庭自立支援」を視察研修しました。

生活困窮者等が自立して生活できるよう取り組む

(滋賀県野洲市)

「野洲市くらし支えあい条例」に基づき、訪問販売登録制度の実施や、消費者被害の解決と生活困窮者の生活再建支援が行われています。

生活保護、就労支援、教育支援、住宅支援、生活費支援、医療支援、相談支援などの施策を実施しており、『やすワーク』と呼ばれる市役所内の就労相談コーナーでは、野洲市と滋賀労働局が就労支援と生活支援を一体的に実施しています。

楽しみや生きがいをもって暮らせるヒントが得られる大学です。

健康、文化、社会、地域など、多彩なテーマで、専門家による講座や、体験学習、交流会など、様々な形態で行われており、高齢者が自立した生活を送るための新しい学びの場として注目されています。

卒業生が、地域活動やボランティアなど、地域社会に貢献することで世代間交流の拠点としても機能しています。

学びと交流で元気と生きがいを見つけることをめざす栗東100歳大学

(滋賀県栗東市)

「100歳大学」は人生100年時代を健康で

「あなたらしい未来を全力でサポートする」ひとり親家庭自立支援

(大阪府堺市)

ひとり親家庭の生活の向上と自立を図るため、就労支援、教育支援、住宅支援、養育費支援などさまざまな支援を行っています。

仕事・育児・家事で多忙なひとり親がスキマ時間に気軽に利用できるよう、運営にはLINEが有効活用され、今後も支援を充実させていく方針とのことでした。

調査を終えて

条例に基づく各種取り組みや学びの場の提供、LINEを活用するなど各自自治体の取り組みは先進的で、とても面白いと思います。

本市の課題にも照らし合わせ、引き続き今回の事例に学び取り組んでいきます。

(坂本 治郎)

議会情報の発信力をつよめ 市民に開かれた議会をめざして

〈広報委員会〉

11月8日～9日

広報委員会では、11月8日から9日に大分県国東市議会と中津市議会の議会だよりについて視察研修しました。

『議会だよりの読みやすさを追求』

議会だよりの紙面の3分の2を使い、一般質問を掲載しています。一議員に対し1ページの一般質問の枠を確保(本市議会だよりの2倍)することで、議員の思いや考えを伝えることに重点が置かれていきます。文字を大きくし、行間を広くするなど工夫がなされているため、大変見やすく、分かりやすい紙面となっています。

また、国東市の97%の世帯にケーブルテレビが設置されている利点を生かし、本会議、一般質問の中継(録画配信含む)はもろろんのこと、録画された映像をユーチューブで配信することで、情報発信に努めているとのことでした。

中津市議会 『市民に開かれた議会づくりが随所』

議会だより作成に全会派(議員)が関わることにも、一般質問をページ目から掲載、市広報内容との重複を避け、議決事項に特化し、ポイント



栗東市での研修

多様な課題解決の視点から まちづくりの一環として

〈総務文教常任委員会〉

10月30日～11月1日

総務文教常任委員会では、10月30日から11月1日に岡山県倉敷市の「空き家対策、教育におけるデジタルコンテンツ」、香川県善通寺市の「市立図書館、子どもライブラリー」を視察研修しました。

空き家対策の取り組み

(岡山県倉敷市)

「多様な課題解決の視点から、まちづくりの一環として空き家等対策に取り組み」を基本方針とし、不動産業者、土地家屋調査士、税理士などの専門家のネットワークの構築、庁内25部署にわたるワーキンググループなどにより全庁を挙げた課題として、空き家対策にあたられていました。

一方、教職員や教料により活用の差があることや有害サイトへのアクセス制限対策などの課題があることが伺えました。

善通寺市立図書館

(香川県善通寺市)

令和4年に開庁した新庁舎2階の全フロアを「本と出会い、人がつながり、夢をはぐくむ図書館」をコンセプトに市立図書館として整備されてきました。指定管理方式による運営により、民間事業者のノウハウが活かされ、「また行きたくなくなる」ような創意工夫を凝らしていました。



ゆとりの空間のある善通寺市立図書館

子どもライブラリー

読書、食育、運動の3本柱を基本とした子育て支援施設で、知育玩具や遊具も設置されており、雨の日でも親子でのびのびと遊べる室内公園のよ

うな施設でした。前述した図書館にないような、小学生低学年までの絵本や児童書が充実しており、八女市でも実現できるのかを考える必要があると感じました。



大人気の子どもライブラリー

調査を終えて

空き家を活用し移住・定住を考えたいところですが、まずは、空き家の所有者の確定や所有者の意向確認が第1歩であると考えます。

所有者と話し合いの上で支援し、再利用が可能な物件に関しては、売却を基本に進めていく必要があると思います。

(服部 良一)

調査を終えて

を絞って掲載するなど、読みやすい紙面となっていました。

今年度から議会情報の発信力向上のため、「議会だより編集委員会」を「広報委員会」に改めました。

ケープルテレビでの議会中継やユーチューブ配信、ケープルテレビでの議長による本会議ごとの議会報告が定着しており、市民への情報発信に努めている様子が随所に見られました。

今後は、市内の高校生とのコラボを模索し、若い人たちの声を議会に集め、市民に発信する取り組みを進めるとのことでした。

市民と議会を結ぶ議会だよりは、市民の関心事を伝え、議会の様子を伝える「情報誌」です。今回の視察を通じて得た情報発信に向けた『気付き』を生かし、今後、広聴広報の視点を持ち、開かれた議会づくりの一翼を担うべく取り組んでまいります。

(古賀 邦彦)



中津市での研修